



since 1926

自分が好き 友だちが好き このまちが好き

横浜市立下野谷小学校

がっこうだより こどもたちへ

5

月号

令和2年5月7日

たからものであるみなさんへ こうちょうせんせい より

ひとりひとりがたからもの×430＝しあわせ

したのや小は、430人の子どもというなかがいます。ぜんこうの子どもたちにあえない日が、こんなにもえがおがすくなくて、つらいということをわたしたち40人のきょうしゅくいんのみんなはかんじています。

ぜんいんがそろったふつうの学校はなんてしあわせなのでしょう。



いのちのたいせつきをかんじよう！

わたしたちは「ちきゅう」という大きな「くに」にすんでいるといえます。いのちに小さいものはありません。アメリカもイタリアも中国も日本も、子どももおとしよりも、どうぶつやしよくぶつもすべてのいのちがたいせつですね。

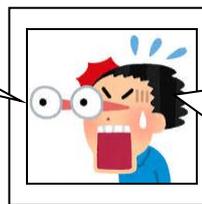
やったの「べんきょう」から、やったよ「べんきょう」にかえよう！

べんきょうは、なぜ、だれのためにするのでしょうか？もう、みなさんはわかっていますよね。あなたのかのうせいをひろげるためです。しょうがっこうでは、すべてのきょうかやせいかつでまなびます。それは「おべんきょう」です。おとなにちかづいて、しごととしてずっとがんばりたいことがでてきたときに「お」がとれて「べんきょう」になるとおもいます。そのときに「おべんきょう」をがんばっていた人のかのうせいが「ぐん」とひろがるのです。おうちの人、それをしてしているから、子どもにしあわせになってもらいたいから、「べんきょうやったの？」ときくのです。その中で、ひとつのすきなことにうちこむこともけいけんしてほしいです。おうちのひとは、子どもががんばるすがたをみると、しごとのつかれがふきどぶのですよ。こうちょうせんせいが、がっこうのせんせいになりたいとおもったのは、しょうがっこう4ねんせいのおかげです。

くばったプリントはいまからでもかならずやろう！

あとでがっこうにだしてもらいます。

じぶんのためにがんばって！！



ガンー！！

～だいすきなみなさんへ また、ともだちやせんせいがたとわらいあえる日をしんじて、ちからをあわせていきましょう！～

がんばろう日本！